



エコアクション21[®]
認証番号0001234

環境経営レポート

(平成30年度)「2018.9～2019.8」(23期)



2019年10月1日

株式会社 大起電工

代表取締役 角山 健次

ごあいさつ

㈱大起電工は、人々の生活に欠かす事の出来ない電気・情報技術などの分野で、お客様のニーズにお応えして事業活動を展開しておりますが、今後はこれに環境保全活動を加えて、更に、社会に貢献して行きたいと考えております。

株式会社 大起電工

代表取締役 角山 健次

環境経営方針

(環境経営理念)

事業活動のあらゆる分野において、自然や資源を守り環境との調和を図るとともに、社会の進歩にも対応する知識・能力を兼ね備え、恵み豊かな生活と環境の次世代への継承を推進します。

(基本方針)

1. 環境マネジメントシステムを構築し、一人一人の環境意識の向上及び環境教育を推進するとともに、目的・目標を定め定期的に見直し、継続的改善を図ります。
2. 人との繋がりを大切にコミュニケーションを図り、人材の育成・社会貢献等、活動の拡大を推進します。
3. 環境関連法規その他の要求事項を遵守します。
4. 資源の有効利用を図るため、廃棄物の削減及びリサイクルを推進します。
5. 地球温暖化を抑えるため、省エネルギーを推進します。
6. 水資源不足に貢献するため、水使用量の削減を推進します。
7. 本社及び工事現場における環境に配慮した活動を推進します。
8. 環境に優しい製品の購入を推進します。
9. 環境経営方針は公表します。

制定:2006年 4月30日

改定:2019年 4月 1日

株式会社 大起電工

代表取締役 角山 健次

1 事業活動の内容

1) 事業者名および代表者名

株式会社 大起電工
代表取締役 角山 健次

2) 事業所の所在地および連絡先(認証・登録範囲が全社である)

本社 : 大阪府箕面市小野原東4-9-20
連絡先 : 072-727-2331

3) 環境管理責任者および担当者

環境管理責任者 : 宮本 政代 TEL 072-727-2331
担当者 : 北川 太郎 FAX 072-727-2328
E-mail daikidenko@daikidenko.com

4) 事業内容(認証・登録範囲が全社・全活動である)

電気設備、電気通信・移動無線通信設備、空調設備、仮設電気工事、土木工事
の設計施工

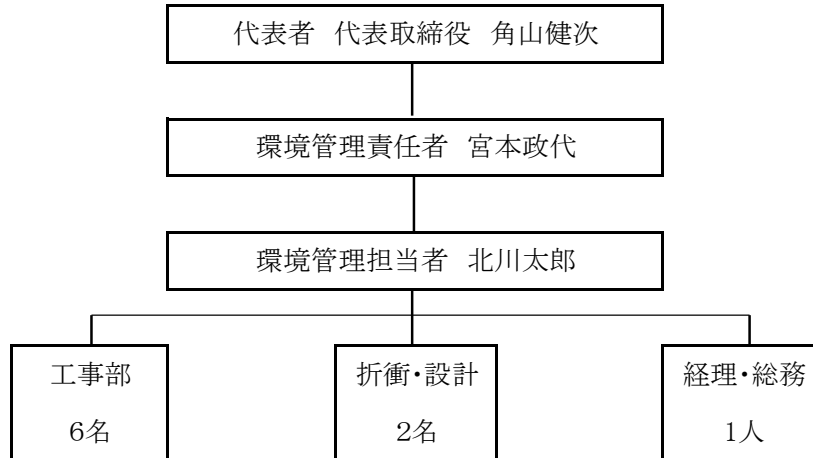
5) 事業の規模

活動規模	(2016年度) 21期	(2017年度) 22期	(2018年度) 23期
売上高 (千円)	300,000	350,000	300,000
従業員 (人)	12	10	12
本社事務所(2F) 延床面積 (㎡)	98.11	98.11	98.11
資機材置場床面積(1F) (㎡)	55.84	55.84	55.84
倉庫総床面積(隣接) (㎡)	55.28	55.28	55.28
産業廃棄物保管場所床面積 (㎡)	8.9	8.9	8.9

6) 事業年度

9月から翌年8月

7) 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代 表 者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環 境 管 理 責 任 者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営目標、環境経営計画書の作成・確認 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の承認・作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境経営レポートの作成・確認、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送) ・従業員に対する環境方針の周知・教育訓練の実施
環 境 管 理 担 当 者	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員に対する環境方針の周知・教育訓練の実施の補佐 ・廃棄物の処分の指示等の実施(リユース・リサイクル・廃棄処理等) ・緊急事態対応訓練の実施 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施
全 従 業 員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

2. 環境目標と実績

2-1 電力、ガソリン、軽油、水の使用原単位と廃棄物排出原単位及び廃棄物リサイクル率

1)-1 年間目標:2008年度実績を基準に毎年 0.3%づつ削減

項 目	単 位	2008年度 基準値	年△0.3%	年△0.3%	年△0.3%
			2018年度 目標	2019年度 目標	平成2020年度 目標
購 入 電 力	売上高当たり	46.436	45.043	44.904	44.764
	使用量 kWh	13,812	13,440	13,392	13,356
ガ ソ リ ン	ガソリン当たり	13.784	11.699	11.699	11.699
	使用量 L	16,320	15,840	15,792	15,732
軽 油	売上高当たり	37.236	36.122	36.010	35.898
	使用量 L	7,224	7,008	6,984	6,960
ガソリン・軽油	総合使用量 L	23,544	22,848	22,776	22,692
廃棄物排出量	売上高当たり	52.942	51.354	51.195	51.036
	廃棄量 kg	13,980	13,572	13,524	13,488
水 使 用 量	売上高当たり	0.2305	0.2236	0.2229	0.2222
	使用量 m3	60.9	60.0	60.0	60.00

1)-2 年間目標:各基準値年度実績を基準に毎年UP

項 目	単 位	2008年度	2018年度	2019年度	2020年度
		基準値	目標(年+0.5%)	目標(年+0.5%)	目標(年+0.5%)
リサイクル率	リサイクル量/全排出	43.4%	48.4%	48.9%	49.4%
項 目	単 位	2010年度	2018年度	2019年度	2020年度
		基準値	目標(年+0.1点)	目標(年+0.1点)	目標(年+0.1点)
環境配慮の事業活動	環境配慮指針 実施状況チェック	3.5点	4.3点	4.4点	4.5点
	工事現場に於ける 環境への取組自己チェック	2012年度	2018年度	2019年度	2020年度
		基準値	目標(年+0.1点)	目標(年+0.1点)	目標(年+0.1点)
	点	実績把握	4.0点	4.1点	4.2点

2) 2018年度運用実績

項 目	単 位	2008年度	2018年度		評価	総合 評価
		基準値	年間目標	1年間運用データ		
購 入 電 力	売上高当たり	46.436	45.043	41.366	○	○
	使用量 kWh	13,812	13,440	8,935	○	
ガ ソ リ ン	ガソリン当たり	13.784	11.699	11.294	×	○
	使用量 L	16,320	15,840	6,753	○	
軽 油	売上高当たり	37.236	36.122	16.971	○	○
	使用量 L	7,224	7,008	3,666	○	
ガソリン・軽油	総合使用量 L	23,544	22,848	10,419	○	
廃棄物排出量	売上高当たり	52.942	51.354	39.759	○	○
	廃棄量 kg	13,980	13,572	8,588	○	
水 使 用 量	売上高当たり	0.2305	0.2236	0.2176	○	○
	使用量 m3	60.9	60.0	47.0	○	
リサイクル率	リサイクル量/全排出	43.4%	48.4%	58.0%	○	○
環境配慮の事業活動	環境配慮指針 実施状況チェック	3.5点	4.3点	4.8点	○	○
	工事現場に於ける 環境への取組自己チェック	3.4点	4.0点	4.9点	○	

「1)-1」・「1)-2」・「2)」の各表において

(注1) 工事現場は殆ど下請工事である為、電力と水の使用量は元請又は客先支給であるため管理できない

(注2) 自動車・重機・発電機のガソリンと軽油の使用量は本社の自動車燃料使用分を加えて一括して管理している

(注3) 廃棄物排出量と処分量については元請が管理するものを除き、当社が管理する物は本社に持ち帰って一括管理・処分している

(注4) 元請・客先主導の工事で材料選定ができない為、環境配慮の設計・施工の提案・実施が困難である。それに替わるものとして「環境配慮の事業活動」として遵守する定性目標を策定して取組む。

※「km/L」の目標値は是正処理にて2015～2017年の各月のkm/L3年分の平均値+(平均値×0.05%)を3年間固定で目標値とする。3年毎で再度検討。

2-2 二酸化炭素排出量

1) 総排出量の実績

二酸化炭素総排出量実績	単位	2016年度	2017年度	2018年度※
	kg・CO2	42,369	31,655	28,861

※ 2017年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数:0.418(関西電力㈱)それ以前は2015年度(0.496)

2) 原単位の年間目標:平成20年度実績を基準に毎年0.3%ずつ削減

項目	単位	2008年度	2018年度	2019年度	2020年度
		基準値	目標	目標	目標
購入電力	排出量	kgCO2	5,070	4,903	4,887
	売上高当たり	kgCO2/百万円	17.553	16.974	16.921
ガソリン	排出量	kgCO2	37,889	36,648	36,535
	売上高当たり	kgCO2/百万円	138.31	133.75	133.33
軽油	排出量	kgCO2	18,958	18,332	18,276
	売上高当たり	kgCO2/百万円	97.72	94.50	94.20

3) 2018年度運用実績

項目	単位	2008年度	2018年度		評価	
		基準値	年間目標	1年間運用データ		
購入電力	排出量	kgCO2	5,070	4,918	3,735	○
	売上高当たり	kgCO2/百万円	17.553	17.026	12.449	○
ガソリン	排出量	kgCO2	37,889	36,762	15,669	○
	売上高当たり	kgCO2/百万円	138.31	134.15	52.23	○
軽油	排出量	kgCO2	18,958	18,389	9,457	○
	売上高当たり	kgCO2/百万円	97.72	94.79	31.52	○

2)と3)の各表において

(注1) 工事現場は殆ど下請工事である為、電力と水の使用量は元請又は客先支給であるため管理できない

(注2) 自動車・重機・発電機のガソリンと軽油の使用量は本社の自動車燃料使用分を加えて一括して管理している

3. 環境活動計画の内容

取組項目	活動計画の内容
① 購入電力使用量の削減及び二酸化炭素排出量削減	・空調使用期間の管理と設定温度の管理(冷房(26~28℃)暖房(22~20℃))
	・不要な照明はこまめに消灯し節電に努める。(スイッチ・OA機器等に節電表示)
	・省エネタイプコピー・電源リモートオフシュレッターにて電源消し忘れを防ぐ
② 化石燃料使用量の削減及び二酸化炭素排出量削減	・「エコドライブ10のすすめ」の励行(特に燃費の拡充に取組む)
	・オイル交換・タイヤ交換等、車両整備の徹底
③ 廃棄物排出量の削減及び二酸化炭素排出量削減	・マニフェストの管理
	・分別排出で、リサイクルを推進する(適正処理の徹底)
	・裏紙使用で紙くずの排出量を抑える
④ リサイクルの推進	・分別排出の徹底にてリサイクル率の向上
	・エコキャップの回収・ルタグの回収・使用済みテプラテープの回収
⑤ 水使用量の削減	・節水コマの取付及びバルブ調節
	・「節水表示」にて節水の徹底、必要時以外は蛇口をこまめに締める
⑥ 環境教育・環境意識の向上等環境に配慮した事業活動の推進	・環境教育の実施にて環境意識の向上を図る
	・月1回の全員による「環境配慮指針実施状況チェック表」の自己チェック
	・2ヶ月に1回、工事従事者の「工事現場に於ける環境への取組」の自己チェック
⑦ 社会貢献活動への参加	・池田土木事務所主催の「豊能防災ボランティア」に参加(防災訓練等に参加)
	・社会貢献活動参加の一環として、「エコキャップ回収」・「プルタブ回収」に参加

(注1) 工事現場は殆ど下請工事である為、電力と水の使用量は元請又は客先支給であるため管理できない

(注2) 自動車・重機・発電機のガソリンと軽油の使用量は本社の自動車燃料使用分を加えて一括して管理している

(注3) 廃棄物排出量と処分量については元請が管理するものを除き、当社が管理する物は本社に持ち帰って一括管理・処分している

(注4) 元請・客先主導の工事で材料選定ができない為、環境配慮の設計・施工の提案・実施が困難である。それに替わるものとして「環境配慮の事業活動」として遵守する定性目標を策定して取組む。

4. 環境活動の取組結果の評価(1年間の運用)

※「使用量又は発生量削減目標」も策定して2本立てで管理し、「各環境負荷の固定分」の改善に取り組み、使用量・発生量を削減する。

① 購入電力使用量の削減及び二酸化炭素排出量削減※

2018年度 目標	2018年度 実績	判定	評価
13,440 kWh	8,935 kWh	○	・過去3年間で最少の電力使用となった。 ・使用量・原単位の目標は達成。 ・kg-CO2/百万円は昨年より減少。
45.043 kWh/百万円	41.366 kWh/百万円	○	
17.026 kg-CO2/百万円	12.449 kg-CO2/百万円	○	
2018年度の年間使用量の推移			過去3年間の総使用量の推移
対策と実施内容			
① エアコンの設定温度の徹底。(夏26～28度・冬22～20度) ② 不要な照明の消灯、パソコン未使用時電源OFF、プリンタ・シュレッダーは電源リモートOFF機導入(消し忘れ防御)			
 コピー機の節電表示		 電源リモートOFFシュレッダー	
 パソコンのOFF表示		 エアコンの温度設定・節電表	

② 化石燃料使用量の削減及び二酸化炭素排出量削減※

2018年度 目標	2018年度 実績	判定	評価
ガソリン			・ガソリン・軽油共に使用量は目標を達成。 ・近距離の現場の関係で、過去3年間で最少使用量となった。 ・燃費に関しては冬季・夏季にエアコンの使用度が高くなるため目標の達成が厳しく、年間通じて未達成となった。 ・原単位も目標達成。 ・エコドライブの推進で燃費の拡充に努めていく。
15,840 L	6,753 L	○	
11.699 km/L	11.294 km/L	×	
134.15 kg-CO2/百万円	52.23 kg-CO2/百万円	○	
軽油			
7,008 L	3,666 L	○	
36.122 L/百万円	16.971 L/百万円	○	
94.79 kg-CO2/百万円	31.52 kg-CO2/百万円	○	
総使用量			
22,848 L	10,419 L	○	
11.011 km/L	10.308 km/L	×	
2018年度の年間総使用量の推移			過去3年間の総使用量の推移
対策と実施内容			
① 毎月1回の「環境配慮指針実施状況チェック表」にて各人が運転・法規の遵守・整備等を点検することで常に見直しを図る。 ② 「エコドライブ10箇条」を運転日誌に添付。車内に10箇条のうちの2箇条(燃費拡充関連)のマグネットを添付。			

③ 廃棄物排出量の削減※

2018年度 目標	2018年度 実績	判定	評価																																		
13,572 kg	8,588 kg	○	・過去3年間で最少の廃棄量となった。																																		
51.354 kg/百万円	39.759 kg/百万円	○																																			
2018年度の年間排出量の推移			過去3年間の総使用量の推移																																		
<table border="1"> <caption>2018年度の年間排出量の推移 (kg)</caption> <tr><th>月</th><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td></tr> <tr><th>排出量</th><td>732</td><td>873</td><td>626</td><td>752</td><td>682</td><td>430</td><td>897</td><td>931</td><td>392</td><td>699</td><td>763</td><td>811</td></tr> </table>			月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	排出量	732	873	626	752	682	430	897	931	392	699	763	811	<table border="1"> <caption>過去3年間の総使用量の推移 (t)</caption> <tr><th>年</th><td>2016年</td><td>2017年</td><td>2018年</td></tr> <tr><th>総使用量</th><td>12,339</td><td>9,066</td><td>8,588</td></tr> </table>	年	2016年	2017年	2018年	総使用量	12,339	9,066	8,588
月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月																									
排出量	732	873	626	752	682	430	897	931	392	699	763	811																									
年	2016年	2017年	2018年																																		
総使用量	12,339	9,066	8,588																																		
対 策 と 実 施 内 容																																					
<p>①分別処理の徹底にて、再生処理のものはリサイクルにまわしリサイクル率に連動させる。(鉄屑は現場処理となり持帰り不要)</p> <p>②書類の裏紙使用で紙くずの排出量を抑える。(FAXを自動用紙排出負荷に設定(無駄なFAXを印刷しない))</p> <p>③産廃に関してはマニフェスト伝票にて管理。その他の物も適正に処理。</p>																																					
<p>産業廃棄物保管場所 廃棄物の種類 廃プラスチック類 数 1 氏名 佐藤 隆三 管理者 佐藤 隆三 連絡先 072-727-2331 保管の高さ</p>		<p>産業廃棄物保管場所 廃棄物の種類 タンホール紙類 数 1 氏名 佐藤 隆三 管理者 佐藤 隆三 連絡先 072-727-2331 保管の高さ</p>																																			
廃プラスチック類		タンホール紙類																																			
			<p>産業廃棄物保管場所 廃棄物の種類 電線くず類 数 1 氏名 佐藤 隆三 管理者 佐藤 隆三 連絡先 072-727-2331 保管の高さ</p>																																		
			電線くず類 業者専用コンテナ																																		

④ リサイクルの推進

2018年度 目標	2018年度 実績	判定	評価																																		
48.4 %	58.0 %	○	廃棄物量が減少したがリサイクル率は達成。																																		
2018年度のリサイクル率の推移			過去3年間のリサイクル率の推移																																		
<table border="1"> <caption>2018年度のリサイクル率の推移 (%)</caption> <tr><th>月</th><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td></tr> <tr><th>リサイクル率</th><td>59.7</td><td>68.2</td><td>79.9</td><td>46.9</td><td>66.4</td><td>61.0</td><td>60.7</td><td>66.5</td><td>48.6</td><td>49.6</td><td>48.6</td><td>37.8</td></tr> </table>			月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	リサイクル率	59.7	68.2	79.9	46.9	66.4	61.0	60.7	66.5	48.6	49.6	48.6	37.8	<table border="1"> <caption>過去3年間のリサイクル率の推移 (%)</caption> <tr><th>年</th><td>2016年</td><td>2017年</td><td>2018年</td></tr> <tr><th>リサイクル率</th><td>59.7</td><td>61.7</td><td>58.0</td></tr> </table>	年	2016年	2017年	2018年	リサイクル率	59.7	61.7	58.0
月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月																									
リサイクル率	59.7	68.2	79.9	46.9	66.4	61.0	60.7	66.5	48.6	49.6	48.6	37.8																									
年	2016年	2017年	2018年																																		
リサイクル率	59.7	61.7	58.0																																		
対 策 と 実 施 内 容																																					
<p>①廃棄物の分別処理にて再生処理できるもののリサイクル利用をはかる。(写真は前出の「廃棄物産出量」にあり)</p> <p>②コピー用紙の裏紙利用で「裏紙」の再利用の徹底(コピー用紙購入の削減)。</p> <p>③テプラテープの使用済み回収・エコキャップの回収にてゴミのリサイクル化を進める。</p>																																					
<p>再利用紙</p>																																					
コピー用紙の裏紙再利用		エコキャップの回収																																			
			テプラテープの回収																																		

⑤ 水使用量の削減※

2018年度 目標	2018年度 実績	判定	評価
60 m ³ 0.2236 m ³ /百万円	47.0 m ³ 0.2176 m ³ /百万円	○ ○	使用量・原単位共に目標達成。昨年より使用量が増加(約1月分)。
2018年度の使用量の推移			過去3年間の総使用量の推移
対策と実施内容			
<p>・「節水表示」をすることで、各人が意識を高め「節水」に努める。</p>			

⑥-1 環境教育・環境意識の向上その他

2018年度 目標	2018年度 実績	評価
環境教育(2回/年) 現場環境教育(都度現場ごと他) 消防訓練(1回/年)	環境教育2回 現場環境教育1回(1社) 消防訓練1回	・消防訓練は1回実施。 ・3・6・9・12月の会議にて、環境意識の向上の為の話合いを励行。
対策と実施内容		
<p>①年2回(9月・3月)環境教育を実施。新入社員入社時においてはその都度環境教育を実施。 ②消防訓練を年1回(12月)実施。 ③HPへの環境レポート掲載準備・各自の名刺へのロゴ印刷等にて、当社のエコアクション21参加・活動をアピール。</p>		

⑥-2 環境に配慮した事業活動の推進

2018年度 目標	2018年度 実績	判定	評価
全員・月1回のチェック 4.3 工事・2ヶ月に1回のチェック 4.0	4.8 点 4.9 点	○ ○	自己評価のチェックが通例となり、それに伴い環境意識の向上となっている。
対策と実施内容			
①月1回全員:環境配慮指針実施状況チェック、2ヶ月に1回工事従事者:工事現場に於ける環境への取組自己チェック			

⑦ 社会貢献活動への参加

2018 年 度 実 績														
①H31.1.17(地震・津波対策訓練)他警報発生時に緊急連絡点検:池田土木事務所の防災ボランティア														
■ 2018 年度活動実績一覧表														
登録 番号	事業者名	継続 要件 充足	2018 年度											
			緊急点検調査報告							訓練・研修				
			6/18 地震	6/20 大雨	7/5 大雨	7/29 台 12	8/23 台 20	9/4 台 21	9/7 大雨	9/30 台 24	5/25 研修	6/13 訓練	1/17 訓練	
12	(株)大起電工	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②エコキャップの回収に参加														
③プルタブの寄付(2019.1.9 4.5kg)														

5. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物の排出。保管基準(掲示板の設置)。 (マニフェスト発行及び交付状況等報告)	遵守
騒音規制法	該当する特定建設工事は届出及びその基準を守る。 (大阪府条例)空調機7.5Kw以上届出)	遵守
振動規制法	該当する特定建設工事や特定(届出)施設は届出及びその基準を守る。	遵守
小型家電サイクル法	使用済み小型家電の回収・リサイクル、回収は担当市町村	遵守
フロン排出抑制法	機器の簡易(定期)点検の実施・漏えいの算定・報告。	遵守
農地法	農地転用許可申請及び除外申請	法規制チェックリストにより 該当は届出
都市景観条例	応じて「大規模建築物許可」・「都市景観形成地区許可」・「景観計画区域内における行為」の届出	
消防法	蓄電池設置届出	
建設リサイクル法	建設リサイクル届出	
自動車NOX・PM法	適合車の使用	
河川法	河川区域・河川保全区域内における行為の許可申請	

・上記以外の該当環境関連法規制も遵守しています。

2) 違反、訴訟等

環境関連法規制等の過去3年間、違反、訴訟はありません。又、関係機関等からの指導、指摘ありません。

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

『全体評価』

[方針、目標、環境活動計画の達成状況]

- 電気・化石燃料・水道の使用量の目標は達成。
電気使用量は昨年より大幅減少となり、逆に水道使用量は1月分ほどの大幅増となった。
- 車の燃費においては、エアコン使用、近距離現場にて高速未使用等の為目標に届かなかった。
- 廃棄物量においては、元請支給・現地搬入等により持ち帰り量の減少により更に大幅減少となった。
- 原単位は、全てにおいて目標を達成。
- 社員全員での環境配慮の意識チェックの定着、向上を図る。
- 「防災ボランティア」・「エコキャップ回収」・「プルタブ回収」等社会貢献活動に積極的に参加。

[環境経営システムの実施状況]

- 省エネコピー機・電源リモートOFFシュレッター機にて消し忘れ防御。
- FAXの自動受信印刷を廃止。必要分のみ印刷(PCにて確認可→データ保存のみも有り)。
- HPへの環境レポートの掲載準備。
- 若年層の採用・育成、全社員のスキルアップへの取組。

『見直し・次年度への取り組み』

- 「節電・節水」・「エコドライブ」の徹底で意識向上を更に図る。
- 廃棄物の排出とリサイクル率においては、分別処理・適正処理の徹底。
- チェック表の利用で各人の「環境配慮の意識の向上」の拡充。
- エコアクションロゴマークを活用して、エコアクション参加会社であることをアピール。
- 「社会貢献」の一環として、「防災ボランティア」・「エコキャップ回収」・「プルタブ回収」運動に積極的に参加。
- 更なる若年層の採用・育成、全員のスキルアップに取組む。
- 全員で売上増に努める。

以上